

Mietta 代表 ^{とびた み え こ} 飛田 三枝子 氏

心を豊かにする ヨーロッパのブロカント雑貨を広めたい



PROFILE

1966年生まれ、新潟市出身。公務員として長年勤務し、2018年3月に退職。海外旅行が趣味で、ヨーロッパの食器などを集めていたことから、2019年1月にブロカント雑貨店 Mieta をオープンする。店名は自身の名前と、店舗が大通りから少し奥に入ることから「店が見えた、幸が見えた、ワクワクが見えた」という思いを掛け合わせて名付けた。

Mietta (ミエッタ) は、20世紀にヨーロッパで使われていた「ブロカント」と呼ばれる食器などを扱う雑貨店。美しく、かわいいアイテムを集めた店内には、「日常に取り入れることで、心豊かな生活を楽しんでほしい」というオーナー・飛田さんの思いが溢れていました。



Mietta

〒951-8055
新潟市中央区礎町通1ノ町1964番地1
TEL : 025-369-5198
<https://mietta2018.jimdofree.com>



“笑顔と幸せの創造”を志として、
これからも事業を展開していきたい。
日本一の雑貨屋になることが私の
目標です

セミナー講師の言葉がきっかけで 大好きな雑貨の店を開業

ヨーロッパの人々に長年大切にされてきた雑貨をメインに取り揃えるMiettaは、2019年にオープン。「公務員時代に参加した起業セミナーの講師から、『定年後に起業しようと考えても実行する人はほとんどいない』と言われ、人生一度きりだし、やりたいことをやろうと思ったのが店を始めたきっかけです」と語るオーナーの飛田さん。改めて“何を扱う店にするか”を考え、出した答えがブロカント雑貨だった。「一般的な雑貨店では太刀打ちできないので、私が好きなヨーロッパの古い食器をメインにしようと思いました。アンティークは100年以上経ったものを示しますが、そこまで年月が経っていない身近なもの。フランス語で“美しいガラクタ”を意味する“ブロカント”と呼ばれる雑貨を扱うことにしたのです」。

イギリスの雑貨がメイン。 “自分がワクワクするもの”を選ぶ

店内に並ぶ商品はイギリスを中心にフランスやドイツの食器、陶器の置物、コスチュームジュエリー、テディベアなどさまざま。「自分がワクワクするものを選んでいきます」と言うように、飛田さんがイギリスの“蚤の市”や国内で買い付けたものだ。「イギリスの紅茶やジャム、シルバーのラッキーチャームなどの現行品も扱っています。当初は古い食器だけを販売するつもりでしたが、少しずつ現行品も増え、古いものと新しいものが混ざった他店にはない品揃えがあるというのが特徴だと思います。また、イギリス・バーレイ社の食器を扱っているのは新潟では当店だけのようです」。



日本でも人気のイギリスの老舗陶器ブランド・バーレイ社の食器は、年月を経たものから現行品まで取り揃えている。11月中旬から新潟市内の農園とのコラボで、ルレクチエとバーレイの皿をセットにした商品を販売予定。

お客様とのご縁を大切に。 情報発信のためYou Tubeにも挑戦

飛田さんが一番大切にしているのは「人との繋がり」だ。「重い扉を開けて入ってきてくださるお客様とのご縁を大切にしたいです。今考えているのは、お客様をご招待して盛大な5周年祭をやること。そういう楽しみを共有できればと思います」。

その一方、新型コロナの影響を考え、今年からオンライン販売とYou Tubeを開始した。「You Tubeを始めるのに*小規模事業者持続化補助金を利用したいと思い、商工会議所さんから申請書作成のアドバイスをいただきました。おかげさまで採択を受け、今年5月から配信しています」と、新たな情報発信にも積極的に取り組んでいる。

現在は海外へ行くことが難しいが、「今後の目標はファーストクラスに乗って、イギリスに買い付けに行くこと。自分がワクワクするもの、お客様が喜びそうなものを見つけてきたいですね」と笑顔で語る飛田さん。どんな素敵な雑貨が新たに加わるのか、今から楽しみだ。



店内に入ると優雅な雰囲気漂う。飛田さんのコレクションの一部を販売しているものもあり、海外旅行に行ったような気分になる。

※小規模事業者
持続化補助金はこちら

